

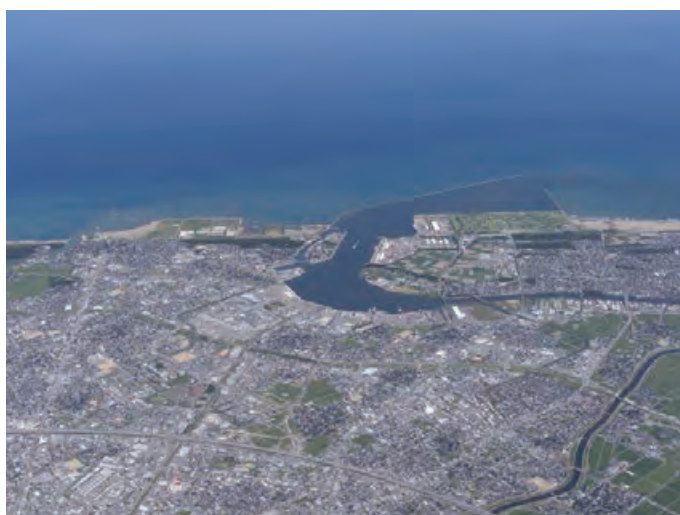
金沢港

石川県土木部港湾課

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地

☎076-225-1111(代)、076-225-1746(直通)

URL : <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/minato/index.html>



1. 概況

金沢港は、日本海沿岸の中央部に位置し、金沢市街を貫流して日本海にそそぐ大野川、犀川の両河口を包含した港湾区域を持つ、石川県管理の重要港湾である。昭和29年に旧大野港と旧金石港を合併して金沢港とし、各々を大野地区、金石地区と呼んでいる。

大野川河口の大野地区は、古くから栄えた港泊地で、遠く奈良時代から大陸との往来があり、渤海国の船もしばしば来航していたことが明らかになっている。江戸時代には加賀百万石の権威を背景に、北前船がこの地を本拠として活躍し、いわゆる御手船、廻米船の名で江戸、大阪に往来し繁栄していた。特に、江戸時代末期には、商傑銭屋五兵衛が、宮の腰(金石地区)を根拠地として、広く海外と交易し、関西、東北、北海道の諸港との間に米、雑貨の移出、木材、海産物の移入を主とした海運が活発に行われ、商船も多数入港して繁栄を極めていた。

しかしながら、明治31年に鉄道が開通し、陸上交通網が整備されるにつれて、本港の港勢は衰え始め、往時の面影は一時なくなり、また満州事変から第二次世界大戦へと激動する内外情勢の試練を受けて大野や金石の港は、厳しい消長の年月を経てきた。

金沢港が掘込港湾として、その開発が時代の要請として打ち出されたのは、昭和6年頃からである。

本港は、北陸地方の政治・経済の中心都市である金沢市及び産業都市小松市を背後圏に有しながら、港湾施設が不十分なため、背後の経済、産業活動は近接する七尾港や伏木富山港からの二次輸送に頼っていた。

その後、昭和38年の豪雪による長期間の陸上交通の途絶に伴う社会不安が契機となり、長年の懸案である冬期間の燃料確保、日本海沿岸航路の避難港としての機能確保等で、昭和39年4月に重要港湾の指定を受け、大野川の右岸に掘込港湾として、金沢港整備に着手した。そして昭和45年11月に関税法による開港に指定された。

開港当時(昭和46年次)91万トンであった貨物量も、年々増加し、令和6年次で約300万トンとなっている。また、昭和63年10月に週1便(日韓コンテナ船)でスタートした国際定期航路も現在は韓国航路週5便、韓国・中国航路週1便、中国航路週1便、韓国RORO航路が週2便と計週9便となっており、令和6年のコンテナ貨物取扱量は6万TEUを超えている。

クルーズ船寄港数については、北陸新幹線開業前(平成26年)は16本だったものが、レールアンドクルーズが可能になったことも追い風となり令和6年は46本と増加し、本州日本海側トップクラスの寄港数となっている。

このような、コンテナ貨物取扱量やクルーズ船の寄港数の大きな増加に対応したハード面における機能強化を図るため、平成29年9月に「金沢港機能強化整備計画」を策定し、「金沢港クルーズターミナル」や「金沢港県営東部上屋」などの整備を令和2年3月に完了した。

併せて、クルーズ船の大型化に対応するため、平成28年度より国直轄事業として無量寺岸壁の再整備(耐震強化含む)が行われた。これにより、無量寺ふ頭には3万トン級以下のクルーズ船しか接岸できなかったのに対して、10万トン級までのクルーズ船が接岸可能となった。

一方で、物流については、平成18年度に国直轄事業として着手した大浜国際物流ターミナルの整備を進めている。平成28年3月には暫定水深12mで供用していた岸壁を260mから400mに延伸し、貨物船の2隻同時接岸が可能となった。これにより、建設機械などの効率的な積み込みが可能となり、さらに金沢港の拠点性が高まっている。また、岸壁背後の工業用地では、臨海部における港湾活用型企業の進出・集積が進んでいる。引き続き4万トン級の大型貨物船に対応する航路水深13m化に向けた整備を進めていく。

また、御供田国際コンテナターミナルにおいては、コンテナ貨物量の増加に対応するため、平成25年にトランスファークレーンを2基、平成30年にガントリークレーン2号機を導入・供用開始した。ガントリークレーン2号機は、日本海側で最大の吊能力を有しており、これまで以上の重量貨物を積み込みすることが可能となっている。

近年では、令和4年に「みなとオアシス金沢港」として登録されたほか、金沢港クルーズターミナルでは、多彩なイベントなどを開催し、令和2年6月の会館から4年10ヶ月で来館者数300万人を超え、賑わいの拠点としての役割が定着した。

その後、コンテナ船の大型化や令和6年能登半島地震で直面した課題に対応するため、港の目指すべき姿を描いた「金沢港将来ビジョン」を令和6年3月に策定し、具体の計画である、金沢港港湾計画を令和7年3月に改訂した。

今後は、更なる物流機能の強化と港湾施設の強靱化、クルーズ船の受入体制の強化を目指していく。

2. 港勢

入港船舶

トン数別 種別	合計		30,000総トン以上		10,000総トン以上 30,000総トン未満		6,000総トン以上 10,000総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	480	6,390,559	23	2,570,171	67	877,788	294	2,547,265
内航商船	729	2,086,920	6	300,852	3	67,416		
自航 その他	24,135	463,750					1	9,858
合計	25,344	8,941,229	29	2,871,023	70	945,204	295	2,557,123

トン数別 種別	3,000総トン以上 6,000総トン未満		1,000総トン以上 3,000総トン未満		500総トン以上 1,000総トン未満		5総トン以上 500総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	89	381,045	7	14,290				
内航商船	332	1,318,593	63	160,266	209	181,929	116	57,864
自航 その他	6	29,188	10	18,631	3	2,624	24,115	403,449
合計	427	1,728,826	80	193,187	212	184,553	24,231	461,313

最大入港船舶のトン数 137,936総トン（喫水 8.54m）

海上出入貨物

品種 項目	合計		農水産品		林産品		鉱産品		金属機械工業品	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	538,796	100.0	670	0.1			63,945	11.9	382,659	71.0
輸入	781,122	100.0	1,458	0.2	4,267	0.5	237	0.0	188,911	24.2
計	1,319,918	100.0	2,128	0.2	4,267	0.3	64,182	4.9	571,570	43.3
移出	45,256	100.0							17,307	38.2
移入	1,833,902	100.0	2,932	0.2			80,219	4.4	48,852	2.7
計	1,879,158	100.0	2,932	0.2			80,219	4.3	66,159	3.5
合計	3,199,076	100.0	5,060	0.2	4,267	0.1	144,401	4.5	637,729	19.9

品種 項目	化学工業品		軽工業品		雑工業品		特殊品		分類不能のもの	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	7,080	1.3	11,667	2.2	35,097	6.5	37,678	7.0		
輸入	208,274	26.7	187,260	24.0	166,893	21.4	23,822	3.0		
計	215,354	16.3	198,927	15.1	201,990	15.3	61,500	4.7		
移出			27,949	61.8						
移入	1,701,560	92.8					339	0.0		
計	1,701,560	90.5	27,949	1.5			339	0.0		
合計	1,916,914	59.9	226,876	7.1	201,990	6.3	61,839	1.9		

外貿コンテナ貨物取扱量

項目	フレートトン	TEU	
		実入り	空コン
輸出	349,372	19,548	14,292
輸入	604,117	28,781	4,630

乗降人員

	合計	乗込人員	上陸人員
外国航路	107,273	53,716	53,557
内国航路	5,300	2,482	2,818
計	112,573	56,198	56,375

3. 港湾施設

区分 埠頭名	けい船施設					荷さばき施設				主な取扱貨物	
	バース名	前面水深(m)	延長(m)	最大けい船能力(DWT)	船席数	荷役機械		上屋			
						機械名	揚力(t)	基数	棟数		使用面積(m ²)
(公共)											
石油ふ頭	石油岸壁	7.0	600	5,000	6					石油製品	
大浜ふ頭	大浜岸壁	12.0 (13.0)	400	30,000	1	ガントリーC トランスファーC	45/63.5 40.6	2 3	1	3,028	産業機械 建設機械
戸水ふ頭	戸水岸壁	10.0	370	15,000	2	クローラC ショベルL	100~350	4 3	1	495	セメント 建設機械
御供田ふ頭	御供田岸壁	10.0	540	15,000	3	フォークリフト フォークL リーチスタッカ ホイールC	25/18等	27 25 51	7	14,973	コンテナセメント 鋼材
無量寺ふ頭	無量寺岸壁 無量寺岸壁	10.0 5.5~ 7.5	320 340	100,000GT 2,000	1 3						
五郎島ふ頭	五郎島岸壁	9.0	240	12,000	1						石灰石、 金属くず
大野ふ頭	大野岸壁	4.5	180	1,000	3						

保管施設		
区分	棟数	面積・容量
野積場		252,546m ²
セメントサイロ	3	49,150t
普通倉庫	-	-
1~3類倉庫	-	-
危険品倉庫	-	-
野積倉庫	-	-
貯蔵倉庫(サイロ)	-	-
水面倉庫(貯木場)	-	232,200m ²
危険物屋外貯蔵所	-	368m ²

泊地		
区分	水深(m)	面積(m ²)
錨泊地	2.0m以下	88,700
	2.1m以上 4.5m未満	53,259
	4.5m以上 7.5m未満	194,000
	7.5m以上 9.0m未満	21,357
	9.0m未満	
	9.0m以上	970,599
はしけ溜	-	-
木材投下泊地	-	-
危険物泊地	-	-

港湾関連施設	
名称	延床面積(m ²)
金沢港クルーズターミナル	10,633.69

臨港交通施設	
名称	総延長(m)
臨港道路	26,459
新交通・鉄道	-
ヘリポート	-

4. コンテナターミナルの概要

御供田国際コンテナターミナル

埠頭名	御供田ふ頭
ターミナル面積	約14.1ha
岸壁延長	355m
水深	10.0m
荷役機械	GC2基
アウトリーチ	31m、34m
リーファープラグ	20基
荷役方式	トランスファークレーン方式

5. マリーナ

区分 名称など	施設規模			収容能力				上下架施設 (能力、基数)	泊地水深 (m)	開設年度	関連施設	
	陸域 (㎡)	水域 (㎡)	防波堤延長 (m)	合計 (隻分)	陸上保管		水面保管					
					ボートヤード (隻分)	艇庫 (隻分)	浮棧橋 (隻分)					固定棧橋 (隻分)
清水マリンサービス 〒920-0274 石川県 河北郡内灘町向粟 崎1-47 ☎076-238-4386	1,721	-	-	30	30				クレーン 2.5t 1基	2.0	昭和50 年度	
さぎなみマリンクラブ 〒920-0226 金沢市 粟崎町ヌ9-2 ☎076-238-7283	990	-	-	23	23				クレーン 2.8t 1基	2.0	昭和50 年度	
前川マリーナ 〒920-0226 金沢市 粟崎町ヌ8-1 ☎076-238-4080	660	-	-	15	15				クレーン 2.9t 1基	2.0	昭和53 年度	
大野マリーナ 〒920-0331 金沢市 大野町2-63 ☎076-268-2610	1,150	-	-	34	34				クレーン 2.8t 1基	2.0	昭和45 年度	
恵海マリン 〒920-0274 石川県 河北郡内灘町向粟 崎1-14 ☎076-237-1531	2,266	-	-	41	41				クレーン 10t 1基	2.0	平成11 年度	
ウォーターフロント パーク金沢 〒920-0331 金沢市 大野町4甲19 ☎076-213-5533	840	-	-	108	26		82		クレーン 5t 2基	2.5 ～ 3.0	平成20 年度	

6. 緑地

名称	区分	面積(㎡) (植栽率-%)	水際線延長 (m)	緑地タイプ	竣工年度	施設	
						利用施設	附属施設
東公園		11,371	90	休息緑地	昭和49年度	便所1棟 遊歩道(840㎡)	ベンチ5基、石垣 つき山
五郎島公園		5,671	270	休息緑地	昭和55年度	遊歩道(810㎡)	ベンチ11基
みなと公園		12,911		シンボル緑地	昭和45年度	便所1棟	シンボル塔 ベンチ19基
近岡緑地公園		3,100		緩衝緑地	昭和59年度	遊歩道(340㎡)	ベンチ4基
大野お台場公園		20,003		休息緑地	平成16年度	東屋1棟、便所1棟 遊歩道(2,800㎡)	池、遊具、石垣 展望台、水門
金沢みなと中央 公園		9,782		シンボル緑地	令和元年度	遊歩道(1,231㎡) パーゴラ1棟	ベンチ11基

7. 基地港湾

該当なし

8. ポートサービス

港湾運送

名 称	所 在 地	電話番号	業 種			
			一 般	港湾荷役		は し け
港 湾 荷 役 (一貫)	船 内	沿 岸				
(株)金沢港運	〒920-0332 金沢市無量寺町り65番地 (金沢港クルーズターミナル3階)	076-268-1811	○		○	○

水先

水 先 区	水 先 人 会 事 務 所 所 在 地	電話番号	会員数
七尾	〒926-0015 七尾市矢田新町地先埋立地 ポートサイド七尾内	0767-53-1192	3

曳船

名 称	所 在 地	電話番号	馬 力	隻数
いぬわし丸	〒920-0332 金沢市無量寺町り65番地 (金沢港クルーズターミナル3階)	076-268-1201	2,700	1
けんろく	〒920-0332 金沢市無量寺町り65番地 (金沢港クルーズターミナル3階)	076-268-1201	4,000	1

通船

名 称	所 在 地	電話番号	隻数
(株)金沢ポートサービス	〒920-0332 金沢市無量寺町り65番地 (金沢港クルーズターミナル3階)	076-267-3719	2

医療・厚生施設

(港湾)

区 分	名 称	所 在 地	電話番号
病院	石川県立中央病院	〒920-8530 金沢市鞍月東2丁目1番地	076-237-8211

9. 関係出先官公署

名 称	所 在 地	電話番号
法務省名古屋出入国在留管理局 金沢出張所	〒920-0024 金沢市西念3丁目4番1号(駅西合同庁舎)	076-222-2450
財務省大阪税関金沢税関支署	〒920-0211 金沢市湊4丁目13(金沢港湾合同庁舎)	076-268-9181
厚生労働省新潟検疫所金沢・七尾出張所	〒920-0211 金沢市湊4丁目13(金沢港湾合同庁舎)	0761-21-3767
農林水産省名古屋植物防疫所 伏木富山支所小松空港出張所	〒923-0993 小松市浮柳町ヨ21 小松空港内	0761-24-1406
農林水産省動物検疫所中部空港支所 小松出張所	〒923-0993 小松市浮柳町ヨ21 小松空港内	0761-24-1407
海上保安庁第九管区海上保安本部 金沢海上保安部	〒920-0211 金沢市湊4丁目13(金沢港湾合同庁舎)	076-266-6118
国土交通省北陸信越運輸局 石川運輸支局七尾庁舎	〒926-0015 七尾市矢田新町二部172(七尾港湾合同庁舎)	0767-53-1120
国土交通省北陸地方整備局 金沢港湾・空港整備事務所	〒920-0331 金沢市大野町4丁目2-1	076-267-2241
石川県金沢港湾事務所	〒920-0332 金沢市無量寺町り65番地 金沢港クルーズターミナル3階	076-268-1201

